

# こうふ町 議会だより

## 地域を担ってよーいドン!!



平成26年度決算を認定.....	2P
決算特別委員会参考意見.....	9P
いっぱん質問 町政を問う.....	13P
私のひと言.....	18P



# 平成26年度 決算

## 歳出総額 57億143万円を認定

(一般会計 40億3,776万円 特別会計 16億6,367万円)

平成27年度9月定例会は8日招集され、会期を25日までの18日間として開かれた。

今回の定例会は平成26年度一般会計と15の特別会計の決算・平成27年度補正予算など提出議案40件を審議し、すべて原案通り承認・可決した。

この中で、江府町議会が、町民の負託に応え信頼される議会であり続けるために、議員発議による「議会基本条例」を制定した。

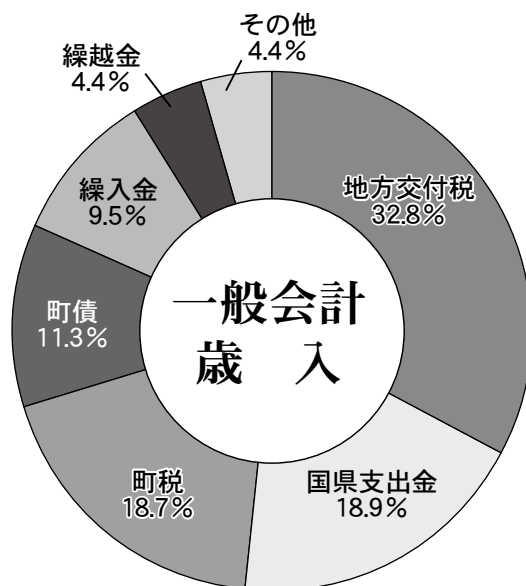
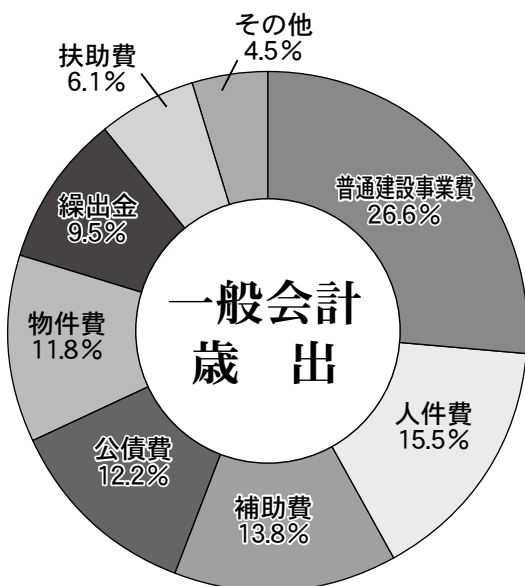
## 一般会計の状況

平成26年度の一般会計は、平成25年度と比較し6億9千万円の減となった。

この主なものは、平成25年度の中学校建設に10億3千万円、プール移転に1億6千万円などが終了し、平成26年度は、給食センター建設に2億7千万円等と大型建設工事が減少したことによるものである。

基金の状況は、取崩しにより3億7千万円減の11億円となっている。又、起債残高は38億6千万円となっている。

今後、残された大型事業である庁舎建設を視野に入れ、引き続き財政の推移について注意深く見極めていく必要がある。



# 特別会計(15会計)の状況

平成26年度の特別会計は、1,266万円の黒字となっている。しかし、これは一般会計から3億880万円を繰り入れたことによる黒字であり、実際には大きな赤字となっている。

水道・下水道は本来使用料でその赤字を埋めるとされているが、小さな町村では現行料金の3〜4倍の使用料となり、各町村とも一般会計から繰り入れを行い、現実的な使用料としている。水道、下水道、「あやめ」、診療所の起債が残っており今後、長期にわたり返済しなければならぬ。

特に「あやめ」については、約4,500万円の赤字となり、平成27年9月議会にて一般会計からの繰り入れを承認した。今後、十分注意が必要である。

(単位：万円)

特別会計	歳入	歳出	収支	繰入金
住宅新築資金貸付事業	145	110	35	38
国民健康保険(事業勘定)	3億5,391	3億4,240	1,151	1,227
国民健康保険(施設勘定)	2億5,207	2億4,116	1,091	3,435
介護保険事業(保険事業勘定)	5億6,012	5億5,064	948	7,720
介護保険事業(サービス事業勘定)	313	257	56	0
介護老人保健施設	0	4,534	△4,534	0
後期高齢者医療	5,001	4,967	34	1,764
索道事業	8,636	7,931	705	0
簡易水道事業	1億1,260	1億834	426	5,603
農業集落排水事業	1億5,516	1億4,730	786	7,418
林業集落排水事業	644	537	107	467
特定環境保全公共下水事業	7,630	7,523	107	3,209
江尾財産区	308	57	251	0
神奈川財産区	959	903	56	0
米沢財産区	612	566	46	0
合計	16億7,634	16億6,369	1,265	3億881

## <平成27年度 補正予算>

- ・介護老人保健施設「あやめ」未処理欠損負担金 4,477万円
- ・地方創生事業
  - \* ホームページ改修、PR映像作成委託 450万円
  - \* 空き家調査、活用事業 120万円
  - \* 就労支援事業 150万円
- ・観光協会に委託 280万円
  - \* 観光協会事業委託料
  - \* 観光協会の職員1名増員し活性化を図る 200万円
- ・用地購入費 817万円
  - 大河原 6.2ha
- ・タクシー利用助成補助金 118万円

9月定例会に提出された平成27年度の主な補正予算

# 平成26年度の 主な事業

事業名	事業の内容	費用
給食センター移転事業	施設を湿式からドライ方式に切り替え、安心安全な食を提供する為。	2億7,000万円
保育園調理室改修	施設を湿式からドライ方式に切り替え、安心安全な食を提供する為。	3,579万円
保育料軽減	子育て世代を応援する為、保育料を1子7,000円、2子は3,500円、3子以降は無料とした。	968万円
高校生遠距離通学助成	高校生の通学定期の半額を助成するもの。費用は、平成27年度に301万円繰越した。	0
旧中学校解体工事	旧中学校を解体し更地にし、将来の有効活用に備えるもの。	6,754万円
道の駅整備事業	観光の拠点と農産物の販売施設として建設した。	1億1,489万円
御机分校トイレ改修事業	奥大山古道や写真家、美術家等の便宜を図り、観光に結びつける為のもの。	2,289万円
財産取得	大河原の大建産業から63.2haを取得し外国資本などの乱開発を防ぐ為のもの。	817万円
奥大山新水源貯水施設事業	老朽化していた奥大山の水源を新しく建設し、エバーランドや水工場に供給するもの。	4,770万円
地域おこし支援事業	地域おこし協力隊6名の賃金と、事業に対する助成。	2,966万円
下安井大橋建設事業	高規格道路の洲河崎川トンネル工事に伴い工事用橋梁を、町道として建設した。9月29日供用開始。	5,758万円
農業公社補助金・基金積立	赤字であった農業公社に836万円補助し、又運転資金として貸付基金を1千万積み立てるもの。	1,836万円

# 監査委員の審査意見

平成26年度江府町決算監査に伴う行財政の実態と問題点を総括します。

平成26年度少子高齢

化対策として、鳥取県の中山間地等保育料無償化事業を活用し、所得税課税世帯第1子は7,000円、第2子は3,500円第3子以降と所得税非課税世帯は保育料を無償化し、また高齢者等の見守り

活動事業を委託され、委託先と福祉保健課、社会福祉協議会等と連携し細やかな情報収集を行われました。

財政状況は、町税は24年度8億6,400万円、25年度8億5,400万円、26年度7億9,100万円と減少、引続き依存財源のウエイトが高く、普通会計地方債の現在高は25年度38億940万円、



砂原監査委員長の報告

26年度38億6,170万円となり5,200万円増加しており、実質公債費比率は25年度15・4%に対し26年度12・7%と2.7ポイントの減少、将来負担比率は25年度80・5%に対し26年度は80・2%と0.3ポイントの改善がありました。今後、厳しい財政状況は変わりません。

江府町の27年7月末人口は3,163人、20年後の人口は現人口の3分の2になると推計されています。

人口減少に歯止めをかけるため、人口の中期展望となる「江府町人口ビジョン」、今後5か年の目標や施策をまとめた「江府町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の素案が策定されました。将来に負担を残さな



総合戦略会議

い、地域の特性を活かした個性のある将来展望の持てる江府町づくりを推進して頂きますようお願いいたします。

## 留意事項

- (1) 農業公社運営を再度検討されたい。
- (2) 公共施設の借地利用を検討されたい。
- (3) 予算流用件数を減少されたい。
- (4) 備品台帳を適切に整備されたい。



# 決算の審査

## 一般会計

Q 町税の徴収率アップの要因は。

A 職員が滞納者の徴収に出向き、大口滞納者に理解を得て、分割払いで毎月確定金額を支払う約束を取り付けた。

Q 町営バス運行委託料が増加したが。

A 再契約において経費が増加したために見直しをした。

Q 宝くじ助成事業の未実施の集落数は。

A 10集落が未申請です。提出され次第に対応します。



町営バス 通学風景

Q 有害鳥獣駆除事業の迅速な対応について。

A 現在3集落から申請があり、出かけて説明しております。被害が無くても申請があれば対応します。

Q チャレンジ起業補助金の有効活用は。

A 農林産業課と奥大山まちづくり推進課と共同で情報提供をし、広く活用できるようにしたい。

Q 秋作業の賃金体系について。

A 草刈り・耕運については近隣3町の動向を参考に農業者委員会が決定しています。

Q 合併浄化槽未設置集落の内訳は。

A 大河原19戸・栗尾9戸その他6集落8戸で合計36戸です。

Q 少子化対策事業の状況は。

A 婚活↓出産↓子育てに向けて、イベントを活用しながら積極的に対応していきたいと考えている。



ひもおとし

Q 集落の林道の草刈りに対する補助金は。

A 町道の林道が対象です。

Q 町道の法面の立木が交通の支障になっているが。

A 確認しており、逐次対応していきたい。

Q 小学校の燃料費軽減の為にソーラーの対応は。

A 全体的な視点から検討したい。



社会福祉協議会 お楽しみ会

Q 社会福祉協議会が町なかに移転してどう変わったか。

A 街中サロンが作られ利用者が増加した。今後バス待ち時間に利用するなど広く普及したい。



農業公社 作業風景 (貝田)

Q 小学校の修学旅行が広島で固定化しているが。

A 学校の方で決められている。教育委員会としては学校の方針を尊重している。

# 特別会計

## 国民健康保険

### 特別会計

Q 診療所が老朽化しているが。

A 平成28年度から施設の改修を予定している。

Q 人工透析の患者数が増加しているがその要因は。

A 生活習慣病、高齢化等が主な要因と思われるがよく分析し予防に努めたい。

## 介護保険事業

### 特別会計

Q 今後、介護ヘルパーの不足が心配されるが。

A 募集をし、常勤が難しい場合、時間帯を区切って、派遣制度等を活用し職員確保に努めたい。

## 索道事業特別会計

Q スキー場の安全対策は十分か。

A 安全パトロールの有資格者を1名増員し安全を確保している。

## 簡易水道事業

### 特別会計

Q 人口減による水道料金の見直しは。

A 他の公共料金を含め検討する。

## 農業集落排水事業

### 特別会計

Q 川筋地区農業集落排水と江尾地区公共下水道を接続するメリットは。

A 川筋地区の汚泥抜き取りが不要になり費用の削減となる。



奥大山スキー場

# 一般会計決算特別委員会

## 参考意見

### 一般会計

江府町の平成26年度一般会計決算は42億3,800万円であり、前年対比86・3%となっており、また平成26年度における実質公債費比率は12・7%となり、早期健全化に向けた報酬カット等努力されたことが伺えます。

平成27年度から地方自治体にとつての5年間、地方創生の目玉としての「まち・ひと・しごと」の総合戦略を構築し、輝かしい江府町のビジョンをしっかりと掲げ、行政・議会・住民が一体となって町民の福祉向上の為に確かな財政運営に傾注されたい。

#### 総務課

(1) 町税の滞納者が長期固定化しているが、徴収はもとより時効の中断に積極的に努力されることを望みます。

#### 企画情報課

(1) 光ボックスの設置に並行して、インターネットの活用方法について行政情報だけではなく、多様なものが発信できるように情報先進地を調査・研究し実施されたい。

#### 住民課

(1) 町営住宅の家賃は滞納が固定化しており、定期的に訪問され多額にならないように配慮されたい。

#### 奥大山まちづくり推進課

(1) ふるさと納税は、平

成26年度は876件、総額1,036万円に対して、お礼品として160万円ほど支出しているが、今後寄付金の大幅な増加が期待されます。江府町に愛着を感じてもらうために「天の虫」を活用されたい。

#### 福祉保健課

(1) あいきょうへの買い物支援と高齢者の見守りサービスの委託は、65歳以上の独居高齢者等に対する安否確認も業務とな



地域の生活を支える「ひまわり号」

#### 農林産業課

っている。また、包括支援センター・社会福祉協議会と連携を取り事業実施されている。実績・結果を見つめながら、今後の事業展開を進められたい。

(1) 奥大山農業公社の運営実態について、平成26年度は運営事業補助金340万円・振興補助金496万円で合計836万円を助成し、また、別途農業公社運営資金貸付金基金を一千万円積み立てられた。実態として非常に厳しい状態と思われる。再度検討されたい。

(2) 奥大山スキー場の管理体制は現地に嘱託職員2名の配置であるが、事案発生の場合は役場職員が上がつて対応されるが、緊急時のマニュアルもしっかりと構築されたい。



### 建設課

(1) 下蚊屋ダムのアオコの発生状況について、緊急調査の結果、農業用水に影響がないといわれるが自然環境にも負荷がかかる想定されるので、農政局の調査結果について速やかに公表されたい。

### 社会教育課

(1) 保育料の完全無償化に続いて小学校も給食無償化を打ち出して、江府町の存在感を発揮して頂きたい。

### 教育委員会

(1) 七色がし・江美城跡等の文化財周辺環境整備は江府町内外にPRになると思うので、整備されたい。

# 特別会計決算特別委員会 参考意見

## 特別会計

### 住宅新築資金等 貸付事業

貸付金滞納者に対しては、毎月、電話あるいは訪問による納付依頼をしているが引き続き地道に努力されたい。

### 国民健康保険 特別会計

(1) 鳥取大学による健康・生活実態調査、健康づくり活動による成果が出ているこの事、継続的に実施されたい。  
(2) 診療所の待ち時間の解消に努力されたい。

### 介護保険事業 特別会計

介護予防事業を「らんちゅう」に委託しているが、町としても大事な事業所と位置付けられている

るこの事、尚仁福祉会・「あやめ」と連携して介護予防事業を推進されたい。

### 索道事業特別会計

冬季作業員の確保は派遣会社との委託契約を活用し安定的にされたい。

### 簡易水道事業 特別会計

(1) 水道料金の検針ミスをごまめにチェックしミスが発生しないように注意されたい。  
(2) 俣野第二共同の改良事業の早期実現を望む。



笑顔のたえない「らんちゅう」

## 第5回江府町臨時議会

(6月24日)

◎江府町課室設置条例の一部改正 **可決**

①総務課 (職員・議会行政・消防・公有財産・統計・税金・各保険料算定徴収・人権同和対策)

②企画情報課 (町政策定と地方創生戦略策定)

③住民課 (町民の窓口統括・各手続き)

④福祉保健課 (保健・福祉・母子・子育て民生児童・社会福祉協議会)

⑤農林産業課 (観光・商工業・特産品・道の駅連絡協議会・農業・林業・畜産業・農業公社・奥大山又キー場・市民農園・地域振興)

⑥奥大山まちづくり推進課

(国内外交流・企業誘致・集落団体支援・定住促進・空き家対策・地域おこし協力隊)

⑦建設課 (道路・河川・町道・農道維持整備・治山・上下水道・三町衛

生施設組合)

◎江府町集会所設置管理に関する条例改正 **可決**

## 第6回江府町臨時議会

(8月6日)

◎旧江府町老人福祉センターに係る指定管理者の指定について **可決**

①指定管理者となる団体の名称

社会福祉法人尚仁福祉会

理事長 佐々木 満

指定期間・

平成27年9月1日から

平成38年3月31日まで

◎江府町固定資産評価審査委員会委員の選任 **同意**

平成27年8月16日任期

満了につき選任

加持谷 典範 氏



尚仁福祉会に委託が決まった「旧老人福祉センター」

# 西部町村会

## 自治功労者表彰

9月1日に開

催された西部町村議長会で、町村議会議員として通算18年以上在職し功労のあつた越峠恵美子議員・上原二郎議員の両名が受賞された。



越峠恵美子議員



上原二郎議員

# 西部町村議会

## 議員研修報告

9月1日伯耆町「鬼の館」で南部町寺内出身、現在(株)武蔵野代表取締役会長 安田定明氏と、江府町御机出身の新法律事務所 新壽夫氏を迎えて講演を行った。『地方再生と企業家精神』と題してお二人の熱い講演で、食品業界の中心を成すまでを聞いて、まちづくりの大きなヒントと、何時もお客様(町民)の側にたつて仕事をしたい。いく姿勢など今後役に立てたい。

### 日野町江府町日南町衛生施設組合定例会 (8月26日)

- ◎平成26年度歳入歳出決算認定 **可決**  
・歳入総額13,103万円・歳出総額12,113万円・差引残高990万円
- ◎補正予算(第1号) **可決**  
・規定の予算総額に8,888万円を減額し、予算総額を54,259万円に補正
- 【汚泥再生処理センター建設工事スケジュール】  
平成27年11月10日…起工式 → 平成29年11月完成予定

### 西部町村議会議長会役員改選

平成27年7月13日から2年間

- |     |             |
|-----|-------------|
| 議長  | 村上 正広 (日南町) |
| 副議長 | 細田 栄 (伯耆町)  |
| 副議長 | 川上 富夫 (江府町) |
| 副議長 | 秦 伊知郎 (南部町) |
| 副議長 | 小谷 博徳 (日野町) |

### 第4回日野病院組合議会定例会 (8月28日)

◎平成26年度日野病院組合決算認定各事業決算について

**可決**

・病院事業・在宅介護支援事業・診療所事業  
歳入 15億2,370万円  
歳出 15億2,935万円  
医療収益は減つたが、医療外収益は前年比で1,500万円増加し、3,800万円の剰余金を計上した。  
・介護老人保健施設「あやめ」は累積欠損金処理が発生し、構成町村割合で左記の通り負担する。

構成町からの負担額	歳入	3億4,660万円
江府町(90%)	歳出	4億1,511万円
日野町(10%)	累積欠損金	△4,974万円
		4,977万円

### 江府町まち・ひと・しごと創生 総合戦略策定

ー奥大山の恵みを活かし、ひとが集うまちーをキャッチフレーズに町の存続のために策定された。

- 住宅整備により移住・定住の促進。  
『住んでみたいまち、帰りたくなるまちづくり』
- 出会い・結婚・安心して子育て・自立と健康  
『すこやかでいきいき暮らせるまちづくり』
- 地域の特性を生かした事業展開と雇用の促進  
『産業振興により活力と雇用を生み出すまちづくり』

この3つを基本的な柱として、町民全員参加で元気な活力あるまちづくりを進めます。



一般質問

# 町政ここを問う

一般質問は4人の議員が行い、町長の方針をたどした



田中 幹啓

## めおとの旅、50年を祝ったらどうか

問	答
町として金婚式を祝ったらどうか	行政改革により廃止

**質問**

厳しい人口減少が進む中、町民が協調の輪の中でどう助け合っているのか、剣が峰の時だと  
思う。高齢者40%に近い数字になり私達の村では70代が若い衆になってきている。その人々がめおとの旅を続け金婚式を迎える時代になっている。税金を払い地域に貢献してこられた。今後も健康で100才のめおと旅をのぞみ、町としてお祝いをされたらどうか、町民の願いもあり提案し町長の考えを伺う。

**町長答弁**

一般的には50年の時はご家庭でお祝いされると理解している。本町も平成17年度までは記念品を贈らせて頂いていたが行政改革の中で論議もし、廃止した。尚95才以上の

方には、私が直接出かけ、家族のみなさんに対しても感謝をしてお祝いを届けさせて頂いている。町としては喜寿から100才までの方のお祝いもしており今の所考えていない。



敬老のお祝い

問	答
町民からの要望に対しスピード感を持って	要望に対してはしっかりと対応してゆきたい

**質問**

江府町のまち・ひと・しごと総合戦略にて、江府町の方向が示されたが、これらに対してどう予算を確保し実行してゆくことが重要である。今、住民との意思疎通をはかり要望、陳情に対し又、計画に対してスピード感を持ってやることが大切と考える。

ここ2年から3年が勝負であると思う。現在、社会資本の整備もほぼ終わりかけているが、町民からの要望はどの位ある

**町長答弁**

のかまた、それに対してどう取り組むのか町長の考えを伺う。

相当数出ているが、地方創生時代に入り住民のみなさんからも厳しい意見を聞く。トータルすると創生会議の中で200人、300人位から意見を聞いている。住民のみなさんの声、急ぐもの、少し時間をいただくもの、長期間ものという形で取り組み実施している。報道相という点でもお叱りを受けることもありますが、管理職等でしっかりと対応していく考えである。

# サントリー第2工場は



竹茂 幹根

<b>問</b>	サントリーの増設は環境に影響
<b>答</b>	はない

**質問** サントリー工場の増設は、1千万ケースの増産と非常に大きな地下水の汲み上げだが、環境アセスメントの評価はどうなっているのか伺う。

**町長答弁** 平成18年に工場進出における基本的な環境アセスメントを行い、平成21年には増設に向けた環境アセスメントを行い、年間80万トンの汲み上げの結果は、水道水源等、影響はないという結論です。



サントリー第2工場予定図

**質問** 増設を行う等、多くの利益が出ているサントリーに対し、誘致企業であるとして新たな工場に対する固定資産税の減免の根拠を伺う。

**町長答弁**

鳥取県においても、江府町においても誘致企業に対する固定資産税の減免は、多くの市町村が行っているように、サントリーに限らず、3年間は減免すると条例で決めています。又、減免額の75%は交付税で入ってくるので、江府町としては25%の減額です。

**質問** この度の増設計画が本町にとってメリット、デメリットは何か伺う。

**町長答弁**

メリットは地元の雇用が増えます。その方々の税金や消費も増えます。又、現在約4千万円の固定資産税が増え、法人税も生まれます。デメリットについては、環境を大切にしている企業であり、問題になるようなものはないと考えています。

<b>問</b>	デイサービスの負担軽減を介護保険法上でできない
<b>答</b>	

**質問** デイサービスの1日の利用者負担が約1,500円であるが、サントリーの固定資産税の一部を財源にし、500円の負担になる様にできないか伺う。

**町長答弁**

デイサービスを含めた介護サービスは、介護保険法に則りその基準が決められています。したがって、その割合以上の費用を一般会計で負担することは出来ません。



# 奥大山の観光振興策は



三好 晋也

<b>問</b>	<b>答</b>
エバーランドの活用は	有効活用したい

**質問** 江府町まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案がまとまり、いよいよ5か年計画で地方創生事業がスタートするが、その中で、観光の振興策に於いてエバーランドとその周辺の観光施設を活用した観光振興策が示されています。

エバーランドは奥大山観光における重要な施設と考えるが、今後の活用方法について問う。

**町長答弁**

この度の地方創生で、観光産業を興していこう、

観光客を17万人から30万人を目指そうとそういう中で、位置づけは明快にしましたが、場所的なものは創生の中には入っておりません。これから具体的な施策を講じます。

ご承知いただきますように、紅葉時期からスキーシーズンの11月から3月までは営業し、エバーランドを有効活用しております。ただ残念ながらその間の活用が十分かといえ、まだまだ不足していると思います。

観光産業として、また入り込み客を増やすため、いろいろな施策が必要ではないかと思えます。関係機関あわせてしっかりと、指摘のあったように、有効活用していきたい。



紅葉の奥大山スキー場



行楽客で賑わうエバーランド

**質問** 今年7月の機構改革で奥大山スキー場管理課を廃止し、農林産業課でスキー場及び索道事業を運営することになったが、今後、どのような体制で営業展開されるのかを伺う。

**町長答弁**

残念ながらスキー場で大きな事故が起きました。そのようなことから、安全対策をしっかりとしていこうということ、スキ

ー場管理課と行政組織の職員を置いて対応し4年が経過しました。

現在、農林産業課の担当は経験者を充て、現場を指導します。また、スキー場で働く皆さんは毎年来ていただいている方であり、安全対策等しっかりと対応できる状況にあると考え機構改革を実施しました。今後、地方創生の中で予算も整備し、具体化に向けて施策として上げていきたい。



# マイナンバー制度は



**三輪 英男**

問	答
マイナンバー制度の周知徹底は	きめ細かな対応を

**質問** この制度は、平成28年1月スタートする予

定でありませんが、一般町民には、依然として周知が十分徹底していない状況があり生活面において対応が変化することが予想されます。個人情報の一括管理の危険性を十二分に説明し、住民の立場に寄り添った周知徹底を

図られたい。

**町長答弁**

出かける行政をしなければいけないと思います。例えば、集落に出て、そこで受付をして申請をする。又、交付についても、高齢者の方の理解はむずかしいので出かける行政を推進する必要があると思っています。

問	答
特定建築物等の耐震化について	必要な建物は耐震化の方向

**質問** 旧俣野小学校・旧明倫小学校・旧米沢小学校等公共施設において耐震化基準をクリアしていない施設においては、用途によっては耐震化が必要と思われるが見解を伺う。

**町長答弁**

予算との関係がございませぬから、一概にはいえませんが、役場プロジェクトで公共施設のあり方検討チームが方向性を出してあります。例えば役場が移転すれば、あと解体すべきとか色々なことが検討されています。当初予算において積極的に検討して方向性を出してまいります。

問	答
地方創生を最大限生かすものは	ホームページを有効活用

**質問** 地方創生という一つの動きの中で、今後、江府町が本当に地方創生のメリットを最大限に活用できる土台作りは何か伺う。

**町長答弁**

戦略会議は大まかな計画に予算をつけていますが、具体的に何をすることが重要であり、いかに気づきをもって対応していくかです。江府町は色々な補助があるが、十分住民の皆さんに伝わっていない部分があります。集落の隅々まで浸透するように、ホームページの改良等積極的に情報発信していきたい。

# 陳情の審査結果

提出のあった陳情は、9月定例議会で審査した結果、下記のとおり決定しました

件名	提出者	理由	審議結果
治安維持法犠牲者国家賠償法の制定を求める陳情	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟鳥取県本部 会長 保田 睦美	一日も早く政府による謝罪と賠償を実現するには人道上当然と判断するため。	趣旨採択 (全員一致)
集団的自衛権行使を具体化する「安全保障関連法案」に反対を求める陳情	憲法改悪反対鳥取県共同センター 代表 田中 暁	賛否が二分する情勢下にあり、今後の推移を見守り判断したいため。	継続審査 (賛成多数)
外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	福岡県行橋市 小坪 慎也	意見書を適切に判断するために調査等時間をかける必要があるため。	継続審査 (賛成多数)
人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定に関する陳情	在日本大韓民国民団 鳥取県地方本部 団長 薛 <sup>ソル</sup> 幸夫 <sup>ヘンブ</sup>	法律の制定に関する陳情書の内容を、適切に判断するため調査等に時間をかける必要があるため。	継続審査 (全員一致)
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の陳情	鳥取県教職員組合西部支部 支部長 藤本 敏秀 鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 岡島 恒志	教職員定数改善については、現在、児童数が減少しているなか、質の向上に取り組んでいるが、定数増を行う時期ではないが、2016年度予算に係る意見書は賛同できるため。	趣旨採択 (全員一致)

## 「江府町議会基本条例」を制定

町民から選ばれた議会は、町の政策の決定と行政を監視する役割があります。町民の負託に応え、信頼される議会であり続けるために、この条例を制定した。

### 主な条例

#### 第2条（議会の活動原則）

○町民の多様な意見を集約し町政に反映させるため、必要な政策立案を行う。広報・公聴活動を行う。決定事項については、説明責任を果たしていく。

#### 第3条（議員の活動原則）

○町民全体の奉仕者であることを常に自覚し、町勢の発展に職務を遂行し、公正かつ誠実に活動する。

#### 第4条（議員の政治倫理）

○議員は倫理性を常に自覚し、遵守する。

#### 第5条（情報公開）

○本会議他すべての会を原則として公開する。

○町民の意見を公聴し、町政に反映する。

#### 第6条（町民との意見交換など）

○積極的に町民との議会報告会・意見交換会を行う。

#### 第8条（議案審議）

○町長は、新規事業等については十分な資料提供を要すること。

○町長に反論権を認める。

#### 第9条（委員会活動）

○社会経済情勢の変化による新たな行政課題等に迅速かつ的確に対応するよう努める。

# ひとこと



## 協力隊として 赴任して

藤井 聖子

4月から協力隊として江府町にきました。出身は京都府です。現在は、奥大山農業公社に籍を置き活動しています。それまでは、大学を卒業してから主に中学校に籍を置き、子どもの教育に携わっていました。昨年度は、学校現場を離れ、子ども向けのスイミングのインストラクターと、近所の農家さんのお手伝いをしていました。

農家さんでは、「すぐき」という京漬物を作っていました。すぐきは、アブラナ科のカブを先祖としています。9月を先祖として、10、11月と間引きを行い、12、1月にかけて漬物にしていきます。一日中外で体を動かし働くこと、蕪を包丁などでむく手仕事、お昼は路地にパラソルを立ててごみを敷いて昼食を取るといった生活を新鮮に感じていました。それから、スイミングスク

ールでは印象的なことがありました。協力隊として着任する前の3月、子どもたちにお別れの挨拶をした後のことです。挨拶が終わった後、小学校低学年くらいの子が「辞めて何すんの？」と聞いてきました。「辞めてな、農業すんねん」と、私は答えました。女の子は？（ハテナ）という顔です。私は、「農業って、田んぼでお米を育てたり、畑で野菜を作ったりするねん」と、説明しました。女の子は、困った様な顔です。「おもしろそう？」と私が聞くと、女の子は「ううん」と首を横に振りました。

私はその時、農業の魅力を言葉に表すことができませんでした。なぜなら、私は農家さんの仕事を手伝えることに新鮮味を感じても、農業にかける熱心さ、植物を愛するという態度には欠けているからです。ですから、一度、年間を通じて農業というものに携わってみたいという気持ちで、協力隊に応募しました。

4月から半年が経ちました。正直に申し上げて、農業の奥深さや苦勞は感じて、魅力といったものを知るにはあまりに時間が短いようです。また、しっかりとした目的意識を持ち、自主的に動いていく本気がないと得られるものも少ないかもしれません。ただ、職場や集落の方をはじめ、住民の方にはいつも親切に接して頂き、たくさんものを頂いています。（もちろん、精神的にという意味です）感謝の気持ちでいっぱいです。これから先、自分の頑張っている姿を見てもらえるような取り組みができれば良いと思います。



## ありがとう

生田 省二

今年の7月からカサラファームの管理人として着任しまして早3ヶ月が過ぎました。米子での生活中心に夢見ていた「大山での生活」が実現でき、私達家族はありがたく生活させてもらっています。

7月から引越しや畑での作付実験、冬の過ごし方々や他の移住者の方々と話し合い協力してもらっています。

私達家族のコンセプトは「循環」です。カサラファームを中心に循環する暮らしを実践していきます。生活と仕事と遊びの循環。行政、町民、町外の人々のつながりを大事にして人間の生活スタイルの新しい方向性を探っていきたくと思っています。

私の特技はギターを弾く事です。バンド活動もしております。4人編成でギター2人、ベース1人、ドラム

1人のバンドです。主に歌の無いインストロックバンドで県内外で活動しております。バンド名は「かんしゃでりつく」といいます。私の他にもう1人のギター本田君がいるのですが彼もカサラファームでの活動（主に畑仕事・薪割り）も手伝ってくれています。ベースの永山君は絵描きも出来るので、カサラファームのポロポロになった机などに絵を描いていてリメイクしてくれれます。この様に自分の出来る事を楽しみながら表現してもらうだけで作られていくコミュニケーション（エコビレッジ）を私は作っていきたくしています。

カサラファームの広い土地を有効利用して、子ども達のがのびのび遊べ、学び、地域の年配の方々と広く交流できる場所を人との繋がりと自分の行動で作っていきたくしています。

今考えている企画では、お年寄り向けの健康体操（ヨガ）などを食事、送り迎えつきで考えております。決まり次第またお知らせします。どうぞよろしくお願ひ致します。

プロフィール  
生田省二  
1975年12月6日生まれ  
米子市出身  
趣味 最近では生活自体が趣味になっております

好きな言葉  
ありがとう



今年の稲作は刈取シーズンに入っつての天候不順で、農家の皆さまには気の休まる時がなかったかと思えます。さて、平成26年度決算の審議も無事終え、地方創生の新たな時代に、議会・行政がしっかりと手を携えて、町民の福祉の向上に邁進いたすところでございます。

議会はこの度制定いたしました、江府町議会基本条例に沿って町民の負託に応え、今まで以上に真摯に議会・議員活動に努めます。

三輪

議会広報調査特別委員会	委員長	上原 二郎
副委員長	三好 晋也	
委員	川端 雄勇	
	三輪 英男	
	川上 富夫	